

地権者が「西口整備を考える会」を結成！

「2次換地案に反対する署名」 350名を超える

4月8日市長に提出

反対の会も賛同。まだまだ継続して集めます。

署名の主旨

2次案の進行を凍結し、事業の見直しと全体像説明会開催及び話し合いの場の設置を求め土地所有者及び借地権者一同連署して陳情します。

理由

- ・公道・公園・駅前広場などは市民全てが使用するもので、それを特定地区内住民の負担、又は犠牲を強いることは民主主義の基本理念に反する。
- ・元来、区画整理は畑や人家の少ない場所で施行されるべきであり、本地区は既に上下水道も完備され四通八達し快適そのものである。
- ・我々は地価の上昇も望んでいない。地価上昇は即、税金の急騰に連なり、生活が脅かされるだけである。
- ・本来、質問があれば、施行者は説明に伺いますとの立場であるべきだが、市は聞きに来いという態度であり看過出来ない。
- ・我々の財産、権利、生命をも左右しかねない審議会も非公開で不透明だ。このままでは審議委員の責任も免れぬ事態となる。

結論

- ・施行区域内の権利者に何らの利益もないので、所有地の強制的な無償提供を本質とする区画整理方式事業には、私権擁護の立場から反対する。
- ・現道を生かし、今ある施設を有効に活用し、整備する所と修復で良い所を仕分けし、十分な補償の下で行うよう事業の見直しを求める。

反対の会に多くの意見書や感想が寄せられました

㊦ これでは、意見書が出せません！

- ・市の封筒の中に意見書の用紙や返信用封筒が入っていない。体の具合の悪い人、入院中の人、仕事や介護で忙しい人が多く、意見書の提出が難しい。
- ・私は羽村市外に住んでいます。説明を聞きに行くのも困難な上に、返信用封筒も自分で用意しろという市の姿勢はあまりにも不親切です。
- ・玉野の環境アンケートの時は、市は回答数が欲しいので、返信用封筒を入れておきながら、換地の意見書は出されると困るので入れていない。

㊦ 資料がわかりにくい

- ・1枚の紙にまとめて書けばわかり易い物も、別々の紙に書いてあるのでやたら枚数が多くて、わかりにくい。
- ・建物入り重ね図をもらって見たが、コピーの質が悪くてよく見えない。
- ・減歩率や清算指数の説明書は余計な説明が多く、大切な説明が抜けていて、とてもわかりにくい。審議会で検討したのか？

㊦ 説明を聞きに行って・・・

- ・個別説明に行ったが、^{せつとくかい}説得会みたいだった。この案は決まったことだからと言うような説明をされた。人をばかにしている。
- ・もっともらしく説明するので、そんなものかと思い家に帰ってきたが、1万、2万円の話ではない、人の財産や生活を脅かす市に腹が立った。
- ・結局、何も定かな回答は得られなかった。この2次案で移転や清算金を払うことを了解しろと言うことだ。
- ・曳き家や建て替えについて、補償額をモデルケースで示すのではなく、個別、具体的に示さなければ換地が良いか悪いか判断できない。
- ・「私道には換地を定めない」とのことだが、撤回を求める。また、審議会で、どのような審議が行われたか資料を求める。

⊗ 換地の位置や形状の問題でなく、この事業に反対！

- ・換地に現在の家は入りません、建て替えの資金も清算金を払う余裕もありません。市が又は市長が連帯保証人となり、お金を借りることが出来るのでしょうか。
- ・曳き家だとか引っ越しなどはゴメンだ。年寄りには耐えられない。区画整理で老後の生活を破壊しないでほしい。寿命を縮めるような意地悪をしないでほしい。区画整理をとめるか、区域から外して貰いたい。
- ・「よく、このように住民を苦しめて、長い年月これを仕事として、市長、市の職員は公僕、公務員としていられるものだ」と改めて感じます。
- ・私は89歳で、身体障害者で一人暮らし、年金暮らしです。区画整理によってもたらされた日常生活の混乱、苦しみ、怒りにより、落ち着いた生活が変わってしまいました。今後の不安や精神的な苦痛に耐えることが出来ない。人権侵害です。
- ・換地設計図案に示されているのは、生まれ育った街とは何ら関係ない「見知らぬ街」です。そんなものに親から預かった大切な財産を削られるのは、理解も納得も出来ません。
- ・どこも6m道路だが、これからは4人に1人が高齢者という時代になって少子化も進む。そんなことも考えず、広い道路を誰が使うのだろう。
- ・日本に未曾有の地震と津波が起こり、この計画が始まったときから、必要のない事業だと反対を続けて来た思いを一層強くした。現在、充分使える上下水道、家、道路等を壊して造り直すとしたら罰が当たるだろう。この計画は白紙に戻し、どうしても不都合なところだけ手直しして、予定していたお金は災害復興に差し出して欲しい。他人の痛みの分かる市政の実現を望む。
- ・先に道路を造り、住民の居住地を道に沿って貼り付けるのは本末転倒といえる。住民を無視する、この区画整理には断固反対する。
- ・特定の人土地に事務管理用地（余った土地）が付いている。区画整理手法は地域の住民が疑心暗鬼になるので問題だ。

* 意見書をどう書いて良いかお悩みの方は反対の会にご連絡下さい。

～ ～ ～ 稲荷緑地地域住民を中心に集めた、～ ～ ～
「稲荷緑地上の幅 8m 道路反対署名」 153
名！

3月24日,市長に提出しました。

弁護士さんの無料なんでも相談 《秘密厳守》

区画整理などで困っていること、何でも、どんなことでもど～ぞ

日時：5月15日(日) 2時～5時

場所：本町会館1階会議室と和室

相談ご希望の方は時間配分のため、事前に御連絡下さると助かります

3月市議会の予算審議で

本地区内、市議会議員の判断は・・・

一般会計 修正案「区画整理の繰り出し金、4億9366万円を止めて、
福祉や教育、防災に当てる」

賛成：中根議員・山崎議員

反対：小宮議員・滝島議員

中根議員：「修正案は、私の主張が反映されているので賛成する」

西口区画整理会計予算

反対：中根議員・山崎議員

賛成：小宮議員・滝島議員

山崎議員：「多くの住民が反対している。事業費355億円は市財政の
危機を招く。都市化から環境保全のまちづくりに転換せよ」

市長に問う

東日本大震災で、日本は世界各国から支援や援助を受けています。この国難にもかかわらず、上下水道の整った街の約1000戸の家をつぶし、今ある道を全て壊し、全く違った街に造り替えるという無駄遣いをまだ進めるつもりですか？ 市民に説明できますか？